

未来を切り拓く「人」の育成

目標

Goal

子どもたちが自ら未来を切り拓くための知識や技能を確実に身に付け、不確実な状況にも対応できる思考力・判断力・表現力、学びに向かう意欲が育ち、積極的に行動する姿勢、豊かな人間性や道徳性、高い非認知能力を備えた、社会に求められる人材を育成します。

現状と課題

Current Situation and Challenges

現代は、未来の予測が困難な時代といわれており、こうした時代においては、子どもたちが柔軟な学び方や考え方、変化に対応する力と態度を身に付けていくことが重要です。

このため、学校教育においては、基礎的な知識や技能を確実に身に付けさせ、思考力や判断力、表現力などを育み、主体的に学習に取り組む態度を養い、子どもたちが自分自身の良さや可能性を認識し、他者を尊重し、協力しながら、自分の人生を切り拓いていける力を育成することが必要です。

また、子どもたちの健やかな成長のためには、豊かな情操や道徳心を培い、正義感や責任感、他者への思いやり、自己肯定感※、人間関係を築く能力などを育む必要があります。

さらに、子どもたち自身が社会を形成する一員であり、合意形成を経てルールや仕組みを作ることができる存在であるとの認識を持つことが重要です。

あわせて、健康で安全な生活を営むために必要な身体能力、知識、望ましい生活習慣を身に付けさせる必要があります。

加えて、幼児教育は義務教育やその後の教育の基礎を築くものであり、これを担う幼稚園教諭等の人材の確保と資質・能力の向上を図るとともに、幼児期から自然の中での遊びや外遊び等、体験活動の機会を充実するなどして、豊かな情操や規範意識、自己肯定感、コミュニケーション能力や創造性などを育むことが重要です。

そのほかにも、地域を支え、グローバルな立場から社会の持続的な発展に貢献するリーダーや、国際的なルール形成や社会経済的な課題解決に参画する人材を育成することが必要です。

取組の基本方向

Basic Direction of Initiatives

こどもたちの学習意欲を高め学力向上を図るとともに、探究学習やSTEAM教育等の教科横断的な学習の充実を図ります。

また、こどもの読書活動を推進する体制を整備するほか、外国語教育の充実、情報活用能力（情報モラルを含む）の育成のため、デジタル技術の利活用を促進します。

さらに、豊かな情操や道徳心を育む教育、生活体験や自然体験の機会の充実を図るとともに、自殺リスクの早期把握や適切な支援のため、組織的な対応や教育相談体制の充実、外部機関との連携強化に向けた取組を推進します。

あわせて、こどもや若者の意見を尊重し、こどもの権利擁護に係る取組を推進します。

加えて、生涯にわたって運動・スポーツに親しむ資質や能力を育成するとともに、児童生徒が自らの健康の保持増進に向け主体的に行動できるよう学校保健の充実、千葉県産の農林水産物を取り入れた食育を推進します。

そのほか、幼児教育職員の専門性を向上させ、幼児教育の質の向上を図ります。

また、こどもたちが郷土と国の歴史や伝統文化を理解し、誇りと愛着を育む教育を推進します。あわせて、グローバル社会で必要な資質・能力を身に付け、国際社会の担い手となるための教育を推進します。

主な取組

Main Initiatives

IV-2-②-1 人生を主体的に切り拓くための学びの確立

SDGs



こどもたちに基礎的・基本的な知識及び技能を習得させ、こども自身が、学び方を学び、自らの学習上の課題を正確に把握し、目標を立て、達成に向けて努力していけるよう、探究学習やSTEAM教育*等の教科等横断的な学習の充実を図ります。

また、効果的な学習指導を進めることができるよう、教員の授業力の向上を図り、授業改善を一層推進します。

さらに、「千葉県子どもの読書活動推進計画」に基づき、こどもたちの読解力や想像力等を育成するため、社会全体でこどもの読書活動が一層推進されるよう、必要な人的・物的環境整備を進めます。

あわせて、こどもたちが世界への視野を広げ、英語で自らの考えを発信し、コミュニケーションを図ることができる資質・能力の育成に取り組みます。

学習意欲を高め学力向上を図る取組の推進

「読書県『ちば』」の推進

コミュニケーション能力を伸ばす英語教育の充実

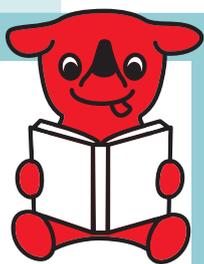
デジタル技術の活用による教育の質の向上（再掲）

ちばコラム

STEAM教育

「STEAM教育」とは、科学・技術・工学・芸術・数学の各教科での学習を、実社会での問題発見・解決に生かしていくため、それぞれ単独ではなく教科等横断的な学びを推進する教育です。

様々な分野が複雑に関係する現代社会において、新たな価値を創造し、社会の担い手となる人材を育成する上で非常に重要であると捉えており、各学校におけるSTEAM教育の推進に努めていきます。



令和7年度千葉県学力向上通信 vol.2
COMPASS へのアクセスはこちら

理科における個別最適な学びと協働的な学び

理科の授業で、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け、ICTをどのように活用したらよいですか。

ICTは、観察、実験の記録を写真や動画に残したり、予想や実験結果、考察を共有しやすくなる場面で活用することができます。その際、理科の学習の一層の充実を図るための有用な手段として、目的をもって効果的に活用することが重要です。参考に、実践事例を紹介します。

実践事例

1. **StuDX Style** (文部科学省)
ICTを活用した教育の具体的な方法や事例が紹介されています。理科の授業においても応用できるアイデアが豊富に含まれています。
2. **リーディングDXスクール** (文部科学省)
デジタル技術を活用した教育の先進的な取組が紹介されています。理科の授業におけるデジタルツールの活用方法や、協働的な学びを促進するためのヒントが得られます。
3. **サポートマガジン「みるみる」** (文部科学省)
「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」を図る授業づくりのための基本的な考え方や具体的な取組について、【基本編】【実践編】あわせて15本の記事で紹介されています。

個別最適な学びや協働的な学びに活用しやすい、問題やプリントのデータ、及びそれらの活用事例があります。

以下のページにあります。それぞれ活用事例もあります。黒板生徒にプリントを配付する、リンク先を教える、MEKBITで問題を解くなど、案照に応じて、ぜひご活用ください。

活用しやすい理科の問題ラーナ

1. **ちばっ子チャレンジ100** (千葉県教育委員会)
小学生向けの短時間で取り組むことのできる良問が紹介されています。
2. **ちばのやる気学習ガイド** (千葉県教育委員会)
中学生向けの短時間で取り組むことのできる良問が紹介されています。

他教科の問題もありますので、ぜひ学校全体で情報を共有してご活用ください。

千葉県学力向上通信「COMPASS」令和7年度第2号



STEAM教育特別授業
「AIの現状と未来」(県立成東高等学校)

千葉県教育庁
教育振興部学習指導課

千葉のいちばん星☆

～学力向上アクセスシート～

明日からの指導に役立つ 令和7年度版 CHIBAの学力向上施策一覧

「確かな学力」の育成のための事業を一体的にまとめて示しています。「5つの視点」により分類した各事業名をクリックすることで、成果物や授業に役立つ資料、困り感を解消する情報などに簡単にアクセスすることができます。
明日からの授業改善、指導力向上等に活用ください。

子供たちの主体的な学び促進事業 **Assist**

ちばっ子チャレンジ100 (小)	ちばのやる気学習ガイド (中)	家庭学習のすすめ (小・中)
家庭学習用TIPS動画 (小)	学習意欲向上への支援	優良・優秀学校図書館の認定
科学の甲子園ジュニア (中) 科学の甲子園 (高)	海外姉妹校等への生徒派遣事業 (高)	ヒブリオバトル (高)

教員の授業改善推進事業 **Coaching**

「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラム	達人の授業解説動画 (小・中) <small>認定公開のため 令和7年3月21日付け 教学指導第1921号参照</small>	授業づくりコーディネーター (小・中)
全国学力・学習状況調査に係る分析シートの活用促進 (小・中)	指導力の向上	学力向上通信COMPASS (小・中)
英語パフォーマンス実践事例集	教科等横断的な学習指導事例 (小・中)	ちばっ子の学び変革推進事業/学力向上交流会 (小・中)

魅力ある専門分野の人材活用事業 **Human resources**

専科非常勤講師等の配置 (小)	塾講師・特別非常勤講師等の活用 (小・中)	学習サポーターの派遣 (小・中)
外国人児童生徒等教育相談員の配置	人材の積極的活用	外国語指導助手 (ALT)等の配置 (高)
SSHコーディネーターの配置 (高)	STEAM教育講師の派遣 (高)	探究学習等における地域人材の活用

～自ら学ぶ子供たち～

- 学びへの意欲をもつ子供
- 思考力・判断力・表現力をもつ子供
- コミュニケーション能力と協働性をもつ子供
- 目標に向かって挑戦する力をもつ子供

**個別最適な学び
協働的な学び**

研修体系に基づく研修の充実事業 **Brush up**

キャリアステージに応じた悉皆研修	各専門分野等の推薦研修 (長期研修含む)	各自の目標・課題意識に合わせた希望研修
研修履歴を活用した能動的研修	教員の研修	職種別の研修 (校長/教頭/養護教諭等)
大学・民間企業と連携した研修	所属校の課題等に合わせた校内研修	実践モデルプログラムを活用した授業改善

グローバル化への対応個に応じた学びの推進事業 **ICT**

GIGAスクール通信Eduation	ICTを活用した「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラム (小・中)	各市町村イチョシ!の活用方法 (小・中)
学びの未来デザインシート活用 (小・中)	ICT活用による学習の充実	AI英会話学習支援システム (中・高)
ワークショップハッカソン (高)	ICTが効果的に活用されていた学習事例学習モデルキット (高)	D X 加速化推進事業 (高)

学力向上施策を一覧で示した「千葉のいちばん星～学力向上アクセスシート～」



STEAM教育特別授業 (県立千葉高等学校)



学習サポーターによる授業支援の様子

IV-2-②-2 豊かな心の育成

SDGs



こどもたちが、自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した一人の人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳教育を推進します。

また、自殺リスクの早期発見や適切な支援につなげるため、組織的な対応や教育相談体制の充実、外部機関との連携強化に向けた取組を推進します。あわせて、教員等による不適切な指導等が児童生徒の不登校や自殺のきっかけになることもあることから、これらの根絶に向けて、研修の実施や相談体制の整備を促進します。

さらに、こどもたちに、学校教育、家庭教育、地域社会での活動の中で、他者の役に立つ経験や、課題の解決に主体的に参画する経験などの積み重ねにより、こどもたちが自己有用感※に裏付けられた自己肯定感を感じられるようにするとともに、課題に向き合う姿勢を育みます。

加えて、こどもが考え、感じたことを自由に表現でき、その意見を尊重する学校風土の醸成などに取り組むことで、こどもの権利の保障を図ります。

豊かな情操や道徳心を育む教育の推進

児童生徒の自殺対策の推進

体験活動等の推進

こどもの権利の尊重



県立船橋法典高等学校における「道徳」を学ぶ時間の様子



小学校道徳授業風景



県立君津亀山青少年自然の家における芝滑り体験の様子

IV-2-②-3

生涯をたくましく生きるための健康・体力づくりの推進

こどもたちが運動・スポーツを好きになり、日常的に運動・スポーツに親しむことができるよう、学校生活における体育的活動の充実を図るとともに、家庭や地域とも連携を図り、基本的な生活習慣の見直しや改善を図ります。

また、児童生徒が、健康の保持増進について自ら考え、主体的に判断し、望ましい行動に結び付けるための指導の推進など、学校保健の充実を図ります。

さらに、栄養教諭を中核に学校・家庭・地域が連携し、鮮度が良く栄養たっぷりでおいしい千葉県産の農林水産物を取り入れた食育を推進します。

SDGs



運動・スポーツに親しむ資質・能力の向上

健康・体力づくりのための外部人材の活用

健康を守る学校保健の充実

学校給食や食育など食を通じた健康づくり



県内産の農林水産物を活用した食育



専科非常勤講師

IV-2-②-4 人格形成の基礎を培う 幼児教育の充実

義務教育以降の教育の土台となる幼児期の教育の充実を図るため、幼稚園教諭、保育教諭、保育士などの確保に努めるとともに、資質・能力の更なる向上に向けて、職員の経験年数や各施設の状況に応じた研修の充実を図ります。

また、幼児教育アドバイザー※や保育アドバイザーを幼稚園、認定こども園、保育所等に派遣し、教員や保育士等の指導力向上や、教育課程、指導計画等に係る指導助言を行い、各施設の状況に応じた教育・保育の質の向上を図ります。

あわせて、本県の特徴である海や里山など豊かな自然を生かした自然環境保育を推進するとともに、「子ども・子育て支援新制度」の実施主体である市町村を支援していきます。

さらに、小学校教育が円滑に行われるよう、幼稚園教諭や保育教諭、保育士などと小学校の教員との意見交換や合同研究の機会等を設けることなどにより、円滑な接続を図ります。

SDGs



教職員や保育士の専門性の向上をはじめとした
幼児教育・保育の質の向上

豊かな自然環境を生かした
「ちば・うみやま保育」の推進（再掲）

幼児教育と小学校教育の接続の円滑化

保育士等の資質の向上



人格形成の基礎を培う幼児教育の充実



幼児教育アドバイザーによる幼稚園支援の様子



保育アドバイザーからの園へのアドバイス

IV-2-②-5

郷土と国を愛する心と、 グローバル化への対応能力の育成

こどもたちが郷土や国の歴史、伝統文化、風土に対する関心や理解を深め、継承・発展させ、郷土や国を愛する心と誇りを持ち、自信を持って発信することができる力を育みます。

また、こどもたちがグローバル社会で必要となる資質・能力を身に付け、国際社会の担い手になれるよう、異文化理解を重視した教育活動を推進するとともに、オンラインを活用した姉妹校交流や海外留学に関する支援、短期海外派遣、外国人児童生徒等との交流などを通じ、国際社会の一員としての自覚を高め、国際協調の精神を養います。

郷土と国の歴史や伝統文化等について学ぶ
教育の推進

多様な文化を認め合う国際社会の担い手の育成

SDGs



グローバル体験事業



出前授業「土器と古代“宅配便”」